

## 日本の“生きがい”という考え方に世界が注目

～世界経済フォーラムの記事で紹介された  
長寿国日本の「長く幸せで有意義な人生の秘訣」が世界の SNS で話題に～

世界経済フォーラムは2017年8月9日付の記事で、日本の「生きがい」という考え方を紹介しています。「生きがい」という日本語は英語に適した訳語がなく、記事では、世界最長寿国の日本の「長く幸せで有意義な人生の秘訣」は「生きがい」という言葉にあると紹介しています。

記事では「生きがい」とは、生きる理由や人生の価値を意味し、より長くより良い人生を送るための方法として、国外にも広まりつつある、としています。



画像：shutterstock  
日本語化：株式会社日本コスモトピア

また、「生きがい」を見つけるにあたり、専門家は以下の4つの質問をあげています。

- あなたが熱中していることは何ですか。
- あなたが得意なことは何ですか。
- 社会や世間、地域や家族が必要としていることは何ですか。
- あなたは何でお金を稼ぐことができますか。

これら4つの回答のバランスが取れているものを「生きがい」という概念として解釈できると記事では述べられています。しかし、日本では「生きがい」は、必ずしも図の条件を満たすだけでなく、収入や仕事、つまり「稼げること」とは関係ない場合が多いと、記事では述べられています。

### カルチャーレストランで実現するシニアの“生きがい”

カルチャーレストランでは、「学びの場」「憩いの場」を通じて、シニアの「得意なこと」「熱中すること」「社会や地域、家族が必要としていること」を実現することが可能です。

「得意なこと」：パソコンや趣味づくり、大人の学び直しを通じて磨き、または新たに発見する

「熱中すること」：多種多様な講座の中から自分自身が「好き」なことを発見し、熱中する

「社会や地域、家族が必要としていること」：教室で作った作品や自分史などをご家族、ご友人にプレゼントする

必要としていること：教室の憩いの場で、ご自分の専門分野の「講座」「セミナー」を地域の方へ教授する  
日本社会を活性化させるためには、シニアが地域や社会に積極的に関わることが必要だと私たちは考えます。そのためにも、オーナー様の専門分野を活かしながらシニアの「生きがい」をつくり、豊かな社会をつくり上げていく一員になりませんか。